

世田谷区立城山小学校改築基本構想（案）について

（付議の要旨）

世田谷区立城山小学校の改築基本構想（案）がまとまったので、報告する。

1 基本構想（案）の概要

（1）基本方針

多様な教育に対応し、健康な子どもを育む学校づくり
環境に配慮した学校づくり
地域コミュニティの拠点としての学校づくり
安全・安心に配慮した学校づくり

（2）計画条件

教室数の設定

13学級（平成30年度までの予測最大学級数で設定。また、シンクタンク等による20年後までのデータを確認済）

【参考】児童数：12学級 356名（平成24年5月現在）

基準延床面積の設定

7,103 m²（義務教育諸学校施設費国庫負担法施行令を基準とした標準設計指針・標準仕様書による）

【参考】既存校舎の延床面積：約4,843 m²

（3）計画の特色

配置計画

新校舎の南側に校庭を配置することにより、普通教室の良好な学習環境、整形で日当たりの良いグラウンドを確保するとともに、周辺環境を著しく変えないよう配慮する。また、体育館は敷地の北東側に配置し、地域利用や非常時の避難所機能に対応できる動線とする。

平面ゾーニング計画

普通教室ゾーンは2～3階の南側に配置し、自然採光と自然通風を確保する。特別支援教室ゾーンは西門に近い1階南側に配置する。職員・管理ゾーンは昇降口及び校庭を視認できる位置とする。給食ゾーンは現状とほぼ同様の位置とし、サービス門からの単独利用を可能にする。

動線計画

児童の教室移動動線に配慮して、普通教室と特別教室はできるだけ同一階に配置する。体育館は中央昇降口に近接して配置し、地域住民も利用しやすい計画とする。また、給食等の搬出車両と児童の動線を明確に分離する。

外構計画

西側道路に沿って歩道を設け、児童の安全を確保する。また、校庭の烏山川緑道側に緑地を設け、緑道との調和を図る。敷地外周部の既存樹木をでき

るだけ残し、周辺からの景観に配慮する。

環境への配慮

屋上緑化、校庭周辺の植樹計画、太陽光発電、雨水利用等を行い、学校全体が児童の環境教育の場となる仕組みを整備する。

(4) 計画の概要

敷地概要

所在地 世田谷区梅丘2丁目1番11号

敷地面積 10,386 m²

建物概要

構造・階数 鉄筋コンクリート造、地上4階建

延床面積 7,200 m²程度

主要室構成

学校施設 普通教室(13)、ワークスペース(3)、体育館、特別支援教室(2)、特別教室(理科室、家庭科室、音楽室(2)、図工室、多目的室、図書室、パソコン室等)、多目的スペース、給食諸室、管理諸室、新BOP室等

地域連携施設 ミーティングルーム、防災倉庫

(5) 改築計画

今後、基本設計以降については、新たな学校施設整備基本方針及び標準設計指針・標準仕様書に基づき、改築計画を進める。

(6) 仮設計画

旧若林中学校を仮校舎として活用することで、城山小校庭に仮設校舎を設置する案と比べ、工事期間が1年以上短縮され、工事の騒音、振動がなく、校庭の使用が可能となる利点があり、コスト縮減が図られる。その際、新たに設定する通学路については、関係所管と連携して対策を講じながら児童の安全確保を図る。

2 概算工事費

約22.5億円(仮校舎改修工事費は別途)

3 工事工程(想定)

平成25年度 基本設計

平成26年度 実施設計、仮校舎改修工事

平成27・28年度 既存校舎解体工事、校舎改築工事、校庭整備工事

4 今後のスケジュール

平成25年 4月23日 文教常任委員会報告

5月中旬 住民説明会

5 敷地概要・配置計画図等

別紙のとおり